

洞窟学の第一人者として知られる沢勲・大阪経済法科大学地域総合研究所長がこれまで探訪した洞窟の数々を写真で紹介する「神秘的な洞窟写真―世界遺産 洞窟写真展―」が7、8日に大阪経法大3号館（八尾市楽音寺）で開催される。

沢さんは電気工学専攻で、半導体の研究を行うかたわら、溶岩洞窟や鍾乳洞など200カ所以上を訪問、調査。韓国・濟州島ではアジアで初めての長靴形溶岩洞窟「ピットケイブ」を発見するなど、さまざまな成果をあげている。現在はNPO法人「洞窟環境NET学会」会長としても活動している。

写真展は、同大学の「第38回経

神秘的な洞窟写真公開

大阪経法大で沢・地域総合研究所長



トルコ・カッパドキアの洞窟都市
(沢勲さんのホームページから)

法祭」の一環として開催。ハワイ・キラウエアの溶岩洞窟やトルコ・カッパドキアの洞窟などの写真や映像、文献も含めて公開。通常入ることのできない場所も紹介されており、沢さんは「神秘的な洞窟の世界を堪能してほしい」と話している。